

# 事業所における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 3年 12月 30日 事業所名

ロングサポートナチュラル

職員数 32名 回収数 29名 割合90.6 %

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	29	0		
	②	職員の配置数は適切である	28	1		コロナ感染対策を踏まえ、継続的に体制を見直していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	28	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	29	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のアルコール消毒</li> <li>・活動中の換気</li> </ul>	日々の清掃や消毒等は感染症対策も考慮しながら実施できている。継続して実施。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	24	4		業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）について、職員の参画が出来ていないため、今後の課題として取り組んでいきたい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	27	0	・わからない	自己評価を通して改善対策を実施しているが、今後は事業所としての評価表作成についても検討していきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	19	1	・わからない 3	ホームページや東京都にも公開している。

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20	1	・わからない 2	未実施。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	27	2	・コロナの影響で以前に比べて少ない ・人数制限しながら行っている	WEB研修や少人数での研修を実施。来年度はコロナ感染の状況も考慮するが、研修の機会を増やし、自己啓発やスキルアップを図っていきたい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	26	1		アセスメントを行う際に、職員からの情報収集の場を定期的に設ける等の工夫が必要。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	22	1	・わからない 2 ・個々のファイルに作成してある	標準化されたアセスメントツールについては、現在療法士を中心に検討中。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	25	1	・個人ファイルのはじめのところに分かりやすく書かれたものが入っている ・だれでも理解して支援できる形になっている ・わかりません	個人ファイルで個別支援計画書を確認できるようにしているが、内容についての確認・理解については、職員全員が理解できるように定期的なケース会議が必要。来年度は計画していく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	29	0		実施できている。継続していく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	23	1	・わからない	活動プログラムについては、児童指導員や保育士が中心となって立案している。個別の活動においては、療法士からの意見やアドバイスも加えながら行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	24	1		季節のイベントや屋外活動等、子どもたちの様々な体験の場を作れるよう工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	27	0		一日の活動として、個別活動・グループ活動を組み合わせ実施している。個別・集団それぞれの狙いや目標を職員全員が理解して支援できるよう、活動計画と合わせて周知していく。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	25	1		朝の申し送りにて、当日の流れを確認。ボードの活用にて、周知内容を記載しているが、全職員が周知できるよう、工夫が必要。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	18	6	・わからない ・1日1つ気付いた点を記入するファイルがある	常勤職員間では確認できるが、全職員と情報共有できるよう工夫が必要。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	25	2	・毎日行っている	サービス提供書のほか、活動記録の活用を広げ、支援の検証や改善に繋げていく。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	20	1		6か月ごとの見直しを実施。
関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	23	0	・わからない 2	基本的には、児童発達支援管理責任が参加し、情報共有している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	21	1	・わからない	個々のケースの必要性に応じて関係機関の担当者と連携を図っている。今後も継続して行っていく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	23	1		個々のケースの必要性に応じて関係機関の担当者と連携を図っている。今後も継続して行っていく。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	25	1		指示書をもとに、主治医やSWと直接電話連絡等で情報交換を行っている。また、嘱託医の定期訪問時にも個々の状況を相談している。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	22	1	・わからない 2	必要に応じて、保育園等と互いに訪問見学や情報交換を行っている。自治体や相談支援事業所との連携も図っている。

保護者や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	23	1	・わからない	就学相談等で、特別支援学校教員の訪問や電話連絡を通して、情報交換を行っている。自治体や相談支援事業所との連携も図っている。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	17	1	・わからない 2	自治体によるが、事業所交流会等に参加して情報共有している。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	10	13	・コロナのため ・コロナの影響で今はない ・今はコロナ禍で行っていないが通常は行っている ・コロナ禍で難しいかなと思う ・コロナでなし ・コロナ禍で無理（現時点）	コロナ感染の観点から交流ができていないが、今後の感染状況をみながら、交流の機会を作っていきたいと考えている。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	14	3	・コロナのため	自立支援協議会に参加し、市内の状況や市の福祉計画について情報を共有している。今後も参加しながら、行政との連携を図っていきたい。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	28	0		送迎時や電話等でお母様と情報交換等している。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	17	3	・わからない ・プログラムだけでなく、個別に随時対応しているようだ	現在のところ、家族支援のプログラムについて具体化できていない。今後は保育参加の機会を設け、取り組んでいきたい。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	23	1	・わからない	ご契約時の丁寧なご説明を心がけていく。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	24	0		得ている。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	26	0		必要に応じて行っているが、定期的には実施できていないため、今後はそのような場を設けることを検討していく。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	10	・コロナのため ・コロナ前は定期的にあった	コロナ感染状況を見ながら、来年度は保護者会や交流会の開催を計画していく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	27	0		相談や申し入れに対する対応が、迅速・適切に行われるよう体制を整え、丁寧に対応していけるよう心がけていく。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	19	4	・地域のものにはのせている	「なちゅーる通信(仮称)」の発行を検討中
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	28	0		継続して、取り扱いに注意していく。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	27	0		個々の状況に応じて対応しているが、対応の方法に不備がないかについて見直し等の場を設けていくことが必要。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	15	6		現在はできていないが、今後の検討課題である。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	20	5	・訓練はまだ実施していない	訓練については、来年度の実施に向け計画。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15	7	・わからない ・訓練はまだないが対応策を考えている	訓練については、来年度の実施に向け計画。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	26	0		確認できている。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	24	0		対応している。必要に応じて、ご家族 t 具体的な相談や主治医と連絡を取りながら、すすめていく。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	22	3		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	26	0		
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	26	0		身体拘束については、個別支援計画にも記載し、保護者の了解を得ている。子どもの安全を優先しながら、必要性を十分考慮して行っていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。